



編集・発行 公益社団法人  
**日本プロテニス協会**  
広報委員会

〒108-0074 東京都港区高輪3-24-16 ISAビル 3F  
TEL:03(5791)1965 FAX:03(5791)1966  
E-mail:kyokai@jpta.or.jp  
URL:http://www.jpta.or.jp

# JPTA news

vol.196 2012年 1月号

## CONTENTS

- ◆ 理事長新年のご挨拶 ..... 1
- ◆ 指導論 ..... 2~3
- ◆ 技術論 ..... 4~11
- ◆ 時の人  
森田あゆみプロ ..... 12~13
- ◆ 新役員就任パーティー開催報告 ..... 14
- ◆ 能登国際女子オープンテニス2011開催報告 ..... 14
- ◆ 準会員ワークショップセミナー開催報告 ..... 14
- ◆ ブラッシュアップ勉強会開催報告 ..... 15
- ◆ 資質向上セミナー開催報告(メガロス柏会場) ..... 16
- ◆ 地区長会議開催報告 ..... 16
- ◆ プロプレーヤーインタビュー ..... 17
- ◆ 会員人物紹介 ..... 18
- ◆ 地区たより(四国地区) ..... 19
- ◆ プロテスト委員会UPテスト合格者 ..... 19
- ◆ プロテスト委員会新入会員挨拶 ..... 20
- ◆ 平成23年度JPTAコンベンション開催案内 ..... 21
- ◆ 行事日程(2月~3月) ..... 21
- ◆ 事務局たより  
求人広告掲載受付  
メール配信登録受付  
平成24年度、年会費請求・退会手続きについて ..... 22~23
- ◆ 公認推薦賛助企業 / 編集後記 ..... 24



新役員就任パーティー 2011.10.24

## 新年のご挨拶



理事長

佐藤 直子

会員の皆さま、新年、明けましておめでとうございます。

私がJPTAの理事長に就任して、初めて迎える新年です。

日本プロテニス協会は、昨年の4月1日に、どのテニス関連協会よりも早く、公益社団法人となりました。このことによって、JPTAはこれまで以上に公益性の高い活動を問われることになり、また公益法人の会計処理は今まで以上に厳しいチェックを受けることとなります。今まで以上に身を引き締めて、清く正しく美しいJPTAの運営を心掛けます。

### — 新年を迎えての私の夢をご紹介します。 —

#### ①JPTAのブランド力のアップ

JPTAの存在をアピールする新たなイベントの開催と、メディアを通じた広報活動を強化する事により、JPTAの評価を高め、JPTAを業界だけではなく社会に通用するブランドに育てます。そしてテニス界を活性化し、主要メディアのどこかに毎日テニスの記事が載るような日本を目指します。

#### ②プロテニスプレーヤー、プロテニスコーチの活躍の場を創設

プロテニスプレーヤーとプロテニスコーチの社会的地位の向上を目指し、プロテニスプレーヤー、プロテニスコーチの活躍の場を新たに創出し、拡大して行きます。

そうした活動を通じて、JPTAの知名度を上げ、会員の活躍の場と収入の増大を実現します。一方で会員の皆様には、指導者としてのスキル向上を支援する各種セミナーなどを通じて、より高い技術、新しい情報を学んでいただき、高いプロ意識をもったJPTAプレーヤー・コーチを輩出することを目指します。

#### ③会員数の拡大

会員数の拡大はJPTAの長年の念願ですが、なかなかうまく行っていませんでした。その理由は、「JPTAの会員になることの魅力」にあることは明白です。この第一歩は、現在の会員の方の満足度向上にあると考えます。その実現は、先の①②を進めて行く事により図られると考えます。これから、時間はかかるかもしれませんが、少しずつその魅力を増やして行くことが私に課せられた仕事だと思っています。

以上の3つは夢であると同時に、実現すべき目標であり、その第一歩を今年から始めます。

このたび、新しく「新規企画委員会」を設けました。JPTAの会員の皆様にアイデアはもとより、具体的な企画を基にJPTA公認の事業として各地で実施運営していただくことにより、JPTAの活動を広め、推進する委員会です。「こういうことをやれば面白い」というアイデアだけでも結構です。「こういった企画なので、プロ選手の支援が欲しい」といった事でも結構です。JPTAと連携し、運営者として協賛金を集める収益事業として企画して頂いても良いですし、「協賛金を集めてほしい」でも構いません。どうぞ、JPTAの発展の為に、皆様の力を貸してください。そして、みんなで楽しいことを実現しましょう。私たちの力で日本のテニスを盛り上げて行きましょう！今年もどうぞ、よろしく願いいたします。

指導技術

指導論

# 指導を考える

日本テニス協会強化本部  
ナショナルチームゼネラルマネージャー 村上 武資

今回JPTA Newsへの執筆のご依頼頂き僥越ではありませんが、テーマである「指導論」について自分なりの考えをお話しさせて頂きたいと思えます。

まず始めに、私のこれまでのナショナルチームとの関わりから話を進めさせて頂き、その中で生まれた「指導者としての考え・ポリシーについて」、続いてはチームや組織をまとめていく上で「リーダーに求められるもの」と言う順で私自身の考えをお話ししたいと思います。

私は現在、日本テニス協会強化本部ナショナルチームゼネラルマネージャー、フェド杯日本代表監督、Gプロジェクト・ディレクターそして来年のロンドン五輪テニス代表監督と、多くの大役を任せて頂いています。

ナショナルチームへの最初の関わりは2002年の年末に、当時の強化責任者であった白石正三氏からの「時間のある時に手伝ってもらえないか」という言葉に軽い気持ちで引き受けたのがきっかけでした。

当時の私は現役を退き、テニススクールで一般の方々を対象に指導して行く中で、徐々に「選手強化」に興味が生えていました。しかし指導者としてどう進んでいけば良いか、方向性に少し悩んでいた時期でもありました。

2003年の4月から男子ジュニアを中心に携わり、ジュニアデビスカップ監督（16歳以下国別対抗戦）として選手達と国を背負って戦った事は大きなチャレンジでもあり、その後の指導者としての礎を築ききっかけになりました。

殆ど選手の指導経験が無い中で、監督としてまたコーチとして選手に何が出来るのであろうか？ そればかりを考えながらあっという間に1年が過ぎました。

そして2004年、2年目を向かえジュニアデ杯チームに錦織圭がメンバーとして入りました。

当時まだ14歳でありましたが、抜群のテニスセンスでチームのナンバー1としてアジア予選で大活躍し、世界大会出場の原動力になってくれました。

監督としてベンチに入りながら錦織選手のプレーに魅了され、アドバイスを忘れた事もありましたが、一番驚かされたのは14歳ながら既に「オールラウンドにプレー出来る事」「最後まで諦めない闘争心」があった事です。

14歳という年齢で、体もまだまだ未完成でしたが、「こんな素晴らしい選手と日本代表として戦える」という想いを抱けた事が今の原動力に

なっている事は間違いありません。

その後も多くの素晴らしいジュニア選手達に、2008年まで海外遠征を通して携わる事が出来ました。

最初は無我夢中であまり状況が見えていない部分もありましたが、徐々に選手達と遠征を繰り返す中で信頼関係を築く事ができ、それを感じてからは本当に遠慮なく「気付いた事」はテニスの面では勿論、私生活面に置いても全て伝える様にしました。

特に「挨拶」。自分の意思を伝える事、表現する事の大切さはテニスというスポーツに直結するという事は必ず伝えました。

それまでのナショナルチームの遠征はどちらかと言うと「引率」と言うイメージがありました。悪く言えば遠征に連れていくだけです。しかし、引率は誰でも出来ます。

大切なのは短い期間ではありますが、選手達に「どう感じさせ」「何を伝えていくか」その中で「気づき」が生まれ、「感じる心」も成長して行くと考えたからです。だから一切妥協せずに話し合いもしました。これが私の指導者として選手に対するポリシーでした。

そして当時のフェドカップ日本代表の植田実監督から「Coach」という単語の意味を教えて頂く事もありました。

「Coach」とは「馬車」が語源で「いかに人を目的の『場所』に連れて行くか」という意味だと教えられました。

目的の「場所」に行くまでには様々な事が起きるかもしれない。大切なのは、「目的の場所にどう導くか」、道を間違えて後戻りする事もあるかもしれない。またそこから新たな道を探して目的に辿り着く道を探る。だから「コーチ」は選手によって目標を定め、そこに導く方法を常に模索する事が大事だと教えて頂きました。

この教えは全ての指導者が共通理解として持つべき基本だと考えています。

少々長くなりましたが、ここからは2009年からのお話に移りたいと思えます。

2009年2月、当時の小浦強化本部長から電話がありフェドカップ監督の要請を受けました。と言うより半ば強引な小浦本部長らしい言い回しでその話を伝えて頂きました。

私にとっていつも指導者としてのお手本にしていた植田実監督から引き継ぐと言う事もあり、荷が重いと感しましたが、ここまでの経験を活かすチャンス、そして素晴らしい選手達と日本代表として戦える機会を再度頂いた事に何よりも感謝しなくてはいけない思いの方が強く、お

## 指導論

引き受けする事になりました。

今までの「コーチ」としての立場から「監督」になり何がかわるか、何を变えればいいのかを考え、模索しながら2009年4月のフェド杯ワールドグループ・プレーオフ対ポーランド戦を迎える事になりました。

場所はアウェーのポーランド、選手は杉山愛、森田あゆみ、森上亜希子、藤原里華を選出し臨みました。

結果は最後のダブルスに勝負がかり、杉山・森田組が惜しくも敗れ、我々日本チームはアジアグループに降格する事になりました。

第4試合を戦いながら、最後のダブルスは誰で行くか本当に悩みました。ダブルススペシャリストの藤原を起用するべきか、ナンバー1と2のペアか？

今でも杉山・森田組での選択に後悔はありませんが、その敗戦によって感じた事は「ダブルスの強化」の必要性でした。ダブルスから学ぶ事が日本の選手達の成長に繋がると気付かせてもらった戦いでした。

ポーランドのペアはダブルス専門にツアーをまわり、お互いを活かす事が出来ていました。

もちろんテクニクもあり正確性もありました。その多くが必ずシングルスに役立つと考えました。

そう考えると「ダブルスから学ぶ」事が本当に沢山あると感じた事が昨年、財団法人日本テニス協会が立ち上げた G プロジェクトの誕生に繋がり、テーマになっています。

また監督としてチームを任されて戦えた事でこれからチームとして機能して行く為に、自分がリーダーとして何が必要かを真剣に考えるきっかけも与えてくれました。

ここからは「リーダーに求められるもの」について自分の考えをお話したいと思います。

一言で「リーダーに求められるもの」と言っても多岐に渡ります。

今年の4月からゼネラルマネージャーも兼務している私がまずはナショナルチームの目標を明確にして、コーチ達1人1人に責任と役割を与える事が1番重要だと考えました。

ナショナルチームの目標は、オリンピック、デビスカップ、フェドカップにおいてチームとして戦うことであり、目標に向けて選手達への意識付けを図るのも我々の大きな役割です。

オリンピックではメダル獲得、デビスカップ、フェドカップではワールドグループへの復帰を目指しました。

そして男子は今年27年ぶり、女子は3年ぶりにワールドグループ復帰を果たす事が出来ました。

現在は男女共に、2008年に東京都北区西が丘に完成した味の素ナショナルセンターを強化拠点として日々選手強化に尽力していますが、

コート面数は2面。

この環境で世界と戦っていくにはナショナルチームの中でも選手を絞って強化していく事が必要不可欠です。その中で男女のジュニアを含めたナショナルコーチ陣にはメンバーの人選にも責任を持ち、「誰をどう強化するか」を明確にして選手に目標を与え、1年をどうスケジュールしていくかを考え、選手の担当も決め、役割を明確にしました。その結果が徐々に始めているのも事実です。女子は G プロジェクトの発足で、2016年リオデジャネイロオリンピックでの金メダル獲得という大目標がありますが、これは男子も同じです。

またデ杯、フェド杯でもワールドグループに定着して行くには ATP、WTA ランキング 100 位以内にそれぞれ4人が必須です。

その目標達成の為にリーダーとして求められるものは、「自分の感情をコントロールして私自身がブレずに強い信念を持ち、チームの目標と戦略への理解をスタッフに徹底させる事」が私の最大の役割だと考えています。

1920年のアントワープオリンピックで日本の最初のメダルを獲得したのがテニスの熊谷一弥さん、柏尾誠一郎さんのお2人で、単複銀メダルを2個獲得されました。

それ以来のメダル獲得を目指す訳ですが、これからの4年間、「どんな逆風にも立ち向かい、ブレる事なくリーダーとして進んで行く」という強い信念を持って現場に立ちたいと考えています。

最後にここまで御拝読頂いた事に感謝し、今後とも皆様方のご理解とご声援を引き続き宜しくお願い致します。

有難うございました。



「写真提供=月刊スマッシュ」

# サービス編

資格認定講習委員会 副委員長 八島 正幸

前回2回に渡って作成しましたFGSとBGSの指導論の参考例に続き、今回は「サービス編」をまとめてみました。サービスはあくまで「シンプルで」「楽しく」「目標があって」「言葉を使い過ぎない」手順(段階式練習)で指導する事をお薦めします。

サービスに関しては運動能力があるかないかで2グループに分け、指導方法の違いを説明します。

<Aグループ>

ボール投げ(遠投)が苦手な人やあまり投げられない人  
 具体的にはベースラインからテニスボールを投げてもらい、ネットを超えない人～サービスライン程度の人(年配の人・一般レディースも)

<Bグループ>

ベースラインを軽々越えられる人  
 男性や遠投能力のある人、また、これから伸ばせる可能性のある人やジュニア

※～私の体験談～

サービスの上手い女性プレイヤー・元全日本トップ選手「望月さん」「宮内さん」達にボール投げをして貰ったら軽くフェンスは越えました。男子プロも当然。海外では、ホップマン・アカデミーでもアメフトボールを投げ合っています。違うスポーツ界の話ですが元阪神のエース「中西投手」とテニスを紹介する機会がありました時に、サービスを少し教えて、打ってもらいました。ものすごく速いです。やはりボール投げが上手い人・遠投が得意な人は、サービスが上達する可能性が高いです。

## I. 「Aグループ」の人達の練習方法の手順

<1 グリップを確認…フォアハンドと同じで良い。セミウェスタン～イースタンがベター>



<2 自分でバウンド突き>

<3 ラケットを担いだ状態でサービスボックスへ打つ>

① 肘を上げてラケットを立てて、短いバックスウィングから短いフォロースルーをする



② 肘を上げて、ラケットヘッドを下げた左ポケットまでフォロースルーをする



<4 下から回して打つ(クイックサービスが増えてきているが、まず、この基本からスタートする)>

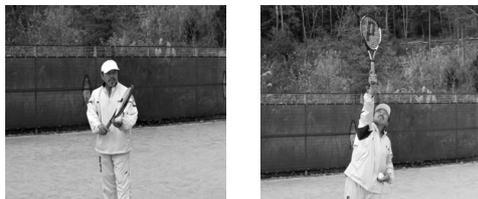
① ボール投げを行う(下から回して)



② 実際にボールをトスして、ボールを投げる

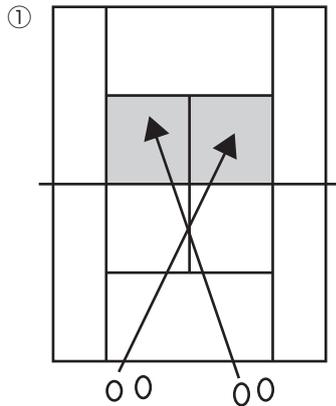


③ ラケットを持って打つ



技術論

<5 上記までの練習の達成スピードは早いので、簡単で面白い練習をどんどん目標化させる>

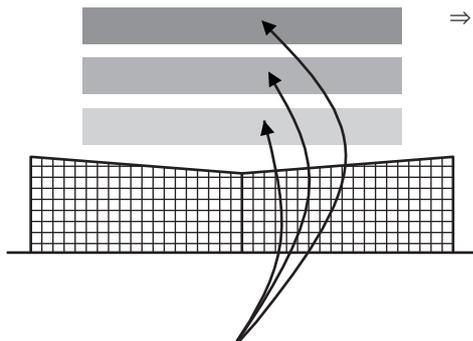


- ① ㊸ サービスラインから斜めのボックス内に10球入るまで手で投げる
- ② ㊹ トスをして 同上
- ③ ㊺ ラケットをかついだ状態から 同上
- ④ ㊻ サービスラインとベースラインの間より 同上

② 2回に1回は入らないと罰トレ (ラケット飛び10往復) ⇒ プレッシャーを少しかけると  
(ダブルフォルトしない) 必ずと集中する

③ スピードを変えて打つ (40km,60km,80km) ⇒ スピードを変えられることが  
最大 90km 以上は、厚いグリップだとオーバーする 肩の柔らかさを生む

④ 高さを変えて打つことによってスピード調整を覚える



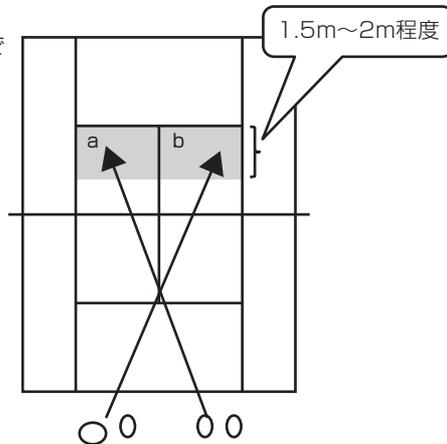
⇒ 高さを変えることによって  
トスの悪さでも肩・腕の調整を  
して打てるようになる

※サービスは、入らないと試合にならない。ダブルスでは、パートナーに迷惑がかかるので(メンタル的に落ち込み易い)安定して入ることを優先に考える。  
遠投能力の無い人がすぐに楽しめるには、フォアハンドグリップで打つのが簡単である。また、ボール投げの出来ない人にコンチネンタルで説明トライしても、時間がかかり無駄である。よく入るようになってから(肩が柔らかくなってからでも)コンチネンタルに変えていくのは、サービスに関しては、特に問題ありません。

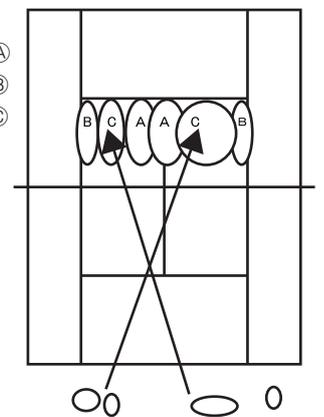
⑤ ターゲットを狙う

- ① ㊼に10-20本入るまで練習(深く打つ為)
- ② ㊽に //

フォアのグリップでのサービスは、最大速度で入れるには難しいが、深いサービスは入りやすい。



- ③ 3点打ち
- ・センター →A
- ・ワイド →B
- ・ボディー →C



※大事なのは、ゆっくりでも深いサービスを入れること、ファーストサービスの確率を上げる事です。コースもバラけると良いリターンは返ってきません。

技術論

II. Bグループの人達の練習方法の手順

<1 正しいボール投げを指導する>

① ボールの持ち方



良い

悪い

② 体のターンのみ



正面

横

③ 体のターンとステップインして投げる



④ 下から回してステップイン(脱力)して投げる為の考え方

補強練習…ほうき振り  
タオル振り  
ロープ振り



これらの道具でサーブのモーションをとると、  
体の使い方が分かる  
・脱力の部分  
・つながりの動作



※亜細亜大学でも野球部員にボールの投げ方の指導を受け、サービス自体がより良く改善されたとの報告があった。

<2 コンチネンタルグリップで段階式練習(フラットで)>

① 内転を覚える方法



地面に置いて打つ

② ラケットを短く持って上に打つ



ア)短く持つて

イ)担いで

ウ)内転させながら上へ打つ

技術論

<3 回転を覚える(スライス)>

① リストだけで打つ



② リストと腕で打つ



③ 肩～腕～リストを使って右側に振り抜いて打つ



④ 振切りを真上から左へ



⑤ 横を向いてトス 14 時で振り抜く



⑥ 下から回して同じ事をする

「回転サービスはざっくりと振り抜くこと、スウィングすること、しっかり打つから入るのであることを忘れないように!!」

<4 回転を覚える(トップスピン)>

① ラケットにボールを乗せて上に上げる



② 同じ事を頭の後ろで



③ 横を向いて肩～腕～リストで右側に振抜き



④ トスを 11 時に上げて丸を描きながらロブを打つ  
振り抜きは左ポケットへ



⑤ ラケットはノーマルに持ち、下から回して同じ事をする

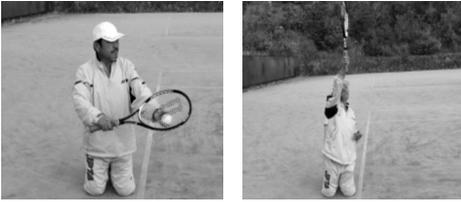


技術論

<5 矯正法(良く使う)>

(1) 姿勢が悪くて、トスが安定しない人

① ひざをついて打つ



② イスに座って打つ



③ 両足真中で打つ



④ 前足中心で打つ(スタートからフォロースルーしてもそのまま)



※上記のような場面にしてしまうと、そこにトスを上げないと打てないのでトスが良くなる  
 ※下半身また上半身のブレが無くなるのでトスも安定する

(2) スピードを増したい人のドリル

① シュードリル

ラケットを3回振ってから  
 ⇒実際に打つ  
 風切り音(シュー!)が  
 最後になる所をデモで  
 見てもらう



※一番大事なところで力を抜き、一番大事な所でスウィングスピードを増す  
 (肩に力がはいらない)事を理解しやすい

② 重いもの(ダンベルなど)を持って、ボール投げの動作をする

筋肉に情報が入り、また、  
 ラケットが軽く感じ、  
 振り抜きが良くなる



(3) 体の姿勢を正しく(前足の大事さを覚える)

バランスボードを使って



技術論

(4) 正確なフラット打ち (スマッシュの練習と同じ)

テーマ：叩きつける打ち方をマスター

① ボールを地面前方1~2m前で叩きつける



② トスを1m前に上げて、フラットにあてて高くバウンドさせる(スライスさせると高く上がらない)



③ 出来ないときは、サービスフラットの段階式練習を行う

・正面を向いて、トス前、  
内転してゆっくり振り切り左側へ

・横を向いてラケットを担ぎ、トスを前にして内転、  
下に叩きつける



④ 実際にフラットサービスを打って修正する



<6 サービスの練習方法>

(1) 安定

① 10球連続サービス/20球連続/30球/50球と決め、入らなかったらコート一周走らせる。一からやり直しである。

この連続サービスをしようと思ったら、柔らかく打つようになる。全日本ジュニア3位の上原伊織君は、中学校2年の時に149本連続サービスを達成しました。50本連続は、全国選手として必須です。

② ファーストを思いっきり打った後、セカンドサービスが入らなかったら、コート1周。

これは、15~20分と時間を決めてやるとおもしろい。

(2) コントロール

3点打ち(センター、ワイド、ボディ)

同じ場所に5分間ずつ3セット行うのと、3か所全てを変えて、15分打つのを変えて行うのも良い。そこで、フォーム矯正のヒントが出てくる。

(3) スピード調整

50km, 70km, 90kmと使い分けて打つことも肩の柔らかさをつけるるとよい練習。(プレッシャーにも負けない練習方法である。)

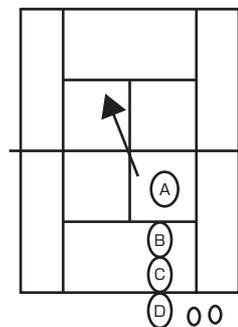
<コメント>



元世界No. 1 ボリス・ベッカーがフロリダ・マイアミで行われていたリプトン・トーナメントの時のウォームアップで、10~20球ほど時速20km~40kmくらいでスローモーションのように打っていた。(ものすごく難しいです)フォームを理解するのに、とても良い練習です。ミニラリーのサーブ版です。

(4) 初級者・ジュニア達の練習方法

場所を変えて打つ



①②③④とネットに近づいて打つと圧迫感がなくて良い  
時間で変わるか、10球入ったら下がるか工夫すると良い

技術論

(5) サービスのメンタルアドバイス

- ①ファーストサービスは、リラックスして「スパン」「バクーン」「コツン」という言葉にして、楽に打つこと。  
力が入るとスピードが出ない。リズムが合わない。
- ②セカンドは、しっかり振り抜いて大きくスウィングすること。「クシューン」と。
- ③リラックスの方法

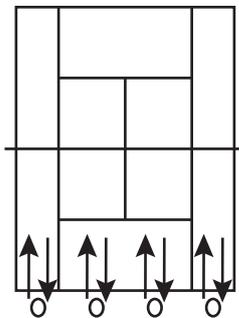
構えから(下から回す時)始める時は、右手の3本指(小指、薬指、中指)を手を離すようにして、息を吐くと、後は勝手に打てるものである。



- ④相手プレイヤーによって、苦手なコース(ボディー・ワイド・センター)や回転(スピン・スライス・フラット)等微妙に弱いところがあり、リターンしてくるコースに特徴がある。それを考えながら、どこに打とうかと考えると楽しくて、試合中にあがらない方法となる。

(6) 冬場のサービス練習

①



- ・打ったら1~2m前(クロスに打つ場合)
  - ・打ったらサービスラインまで(ストレートに打つ場合)
- タッチして戻る、そしてまた打つ、を連続10球。  
4人で競争する。  
力が抜けている人、トスが安定している人が早く終わる。

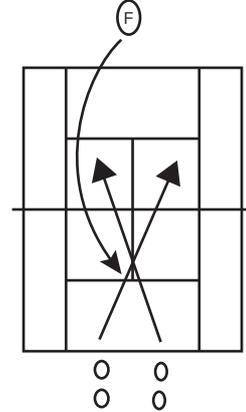
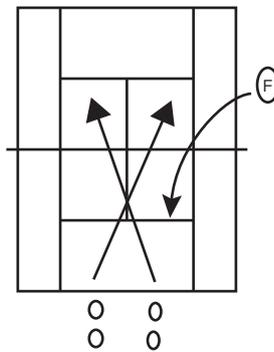


走る、戻る

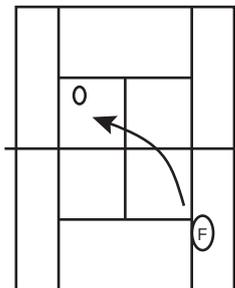
②サービス&チャンスボール



チャンスボールは「ストレート」「クロス」と打つ前に言うてから打つ事。  
入らなかった人はコート1周する。



③スペイン式スマッシュ&ストローク



(スマッシュ)



(ストローク)



この練習をすると、投げた=サービスを打った後のストロークのフットワーク力がつく。  
そして、柔らかくなる練習で動きがよくなる。



技術論

(参考)

④ ラケットの引き方

- ① 下から回しながら
- ② 同時進行 (ワンツー)
- ③ 別々: ワン (ラケットを引く) ツー (トスを上げる) スリー (打つ)

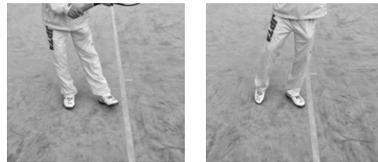


⑤ ハーフバックスウィング

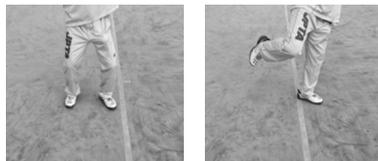


⑥ 重心移動

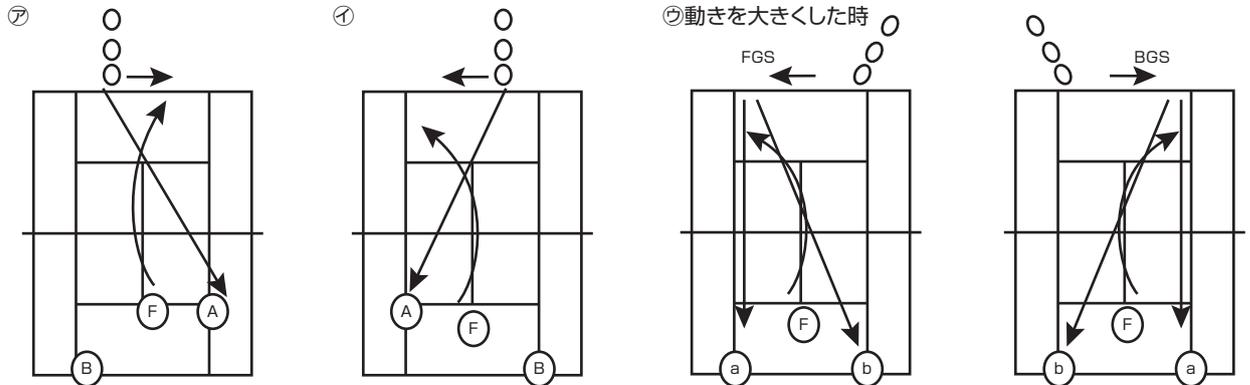
- ③ 重心移動 (後⇒前)
- ④ 重心移動 (前⇒後⇒前)



⑤ 両足そのままからジャンプ (フェデラー式)



(7) サーブ&ストローク練習



- ① サーブをワイドに打ち、相手を追い出すイメージを描く
- ② フィーダーから出されたボールを回り込みをして③に相手を追い出すように FGS で逆クロスに打つ

- ① サーブをワイドに打ち、相手を追い出すイメージを描く
- ② フィーダーから出されたボールを③に相手を追い出すように FGS でクロスに打つ

- i) シングルスサイドラインくらいから左サイドのボックスにサービスを打つ
- ii) フィーダーから出されたクロスいっぱいボールを
- ③ ストレート
- ④ クロスに打つ

- iii) 逆サイド

まとめ サーブの指導は、他のショットと違って1人で全てやらしてもらわなければならないので「簡単に」。動きが少ないので「面白く」できないと楽しくない。「やさしく」から「目標化」へ持っていくプログラムを考える事がコーチとして大切だと考える。また、運動能力等で考え方や練習方法の手順をメイクするコーチング能力が必要と考える。

# 「時の人」

プロテニスプレーヤー

## 森田 あゆみ 氏

Morita Ayumi

「時の人」では、テニス界のみならず、様々な分野で活躍されている方にお話を伺い、視野を広げてテニス界を盛り上げるヒントをみつけていきたいと思ひます。

第3回目は、日本を代表するトッププロテニスプレーヤー 森田あゆみさんです。ご多忙中にも拘わらず、何とか日程と時間を調整し、実現することができました。

インタビュアーは吉田友佳理事にお願ひし、豪華トッププロ同士の対談となりました。プロ同士ならではの中身の濃い内容はとても興味深いものとなっており、森田プロの更なる活躍がとても楽しみです。



私が森田選手にインタビューをさせて頂く今回の企画ですが、森田選手とゆっくり2人でお話をするのは、初めてということもあり、少し緊張気味でスタートしました。森田選手がテニスについて語るのを聞きながら、インタビューというより、真剣なテニストークになりました。

聞き手：吉田友佳

**吉田** 2011年は10月に最高ランキング40位になったこともあり、素晴らしい一年だったと思いますが、2011年を振り返っての感想を聞かせてください。

**森田選手** まずは、今年も一年怪我もなく元気にツアーを回れたのが良かったです。それから、ランキングを今年は世界50位と目標を立てていたのが、ちょうど最後にその50位というランキングで終わることができ、2011年は昨年より成長できた一年になりました。2012年がとても楽しみです。

**吉田** 2011年で印象に残っている大会や試合はありますか？

**森田選手** クビトバ選手と対戦した試合やイワノビッチ選手と対戦した試合が印象に残っています。今年はトップ選手と対戦する機会が増えました。今までは差を少し感じていましたが、2011年に対戦した時には、差を埋められたかなと思えたことと、勝てたということが自信になりました。それと同時にトップ選手との対戦で感じたことは、全ての面で高めていかないと世界のトップにいくためにはまだ必要なことがあると同時に感じました。

**吉田** 世界のトップと私も対戦経験がありますが、スピード感というのがものすごく感じたのを覚えています。世界のトップとの対戦で、実際森田選手はそのスピード感はどう感じますか？

**森田選手** とくにクビトバ選手やイワノビッチ選手との対戦は向かっていく立場だったので、思いっきりプレーをすることが出来たのと、二人ともスピードのある選手ですが、試合の立ち上がりからしっかり対応することが出来ました。最後まで自分自身はとてもいい状態で試合が出来ました。内容的には押されてしまうことがあり、相手に助けられる場面もあったので、もっと自分自身が主導権を握れるようにしていきたいです。クビトバ選手との対戦では、とても自分にとって大きな勝利でしたし、コーチもとても喜んでくれましたが、コーチと二人で話して、今後、相手をもっと良い状態、さらに安定してきたら…とも考えました。とても刺激になった試合でした。

**吉田** 実際のクビトバ選手のサーブを受けてみるとどんな感じですか？

**森田選手** 左利きのサーブというだけでやりにくさはありません。コースが読みにくいサーブでした。

**吉田** 2011年は最初からずっと好調だったように思いますが、何かきっかけがあったのですか？

**森田選手** 1つは、2010年のオフの時からトレーナーの人を新しくお願いすることになり、体(フィジカル)が強くなったことにより、プレーが安定したことが1つのきっかけになったと思います。あとは、今までできてきたことが少しずつ、まとまってきて結果に繋がったのだと思います。

**吉田** 東レパンパシフィックの大会で実際に身近で森田選手の試合を見て(解説をさせて頂いていました)、見ている人が魅了されるプレーだったのがとても印象に残っています。

**森田選手** 今までは、日本での試合はプレッシャーを感じてしまい、どちらかというと力が出せなかったのですが、そういう経験も何回もしてきたので、だいぶ今は精神的に強くなったと思っています。

**吉田** 森田選手はジュニアの頃から、丸山コーチと一緒にツアーを回っていると思います。女子のツアーでは、コーチと選手の関係があまり続かないことも多い中で、森田選手と丸山コーチはずっと二人三脚で頑張ってきています。森田選手にとって丸山コーチはどんな存在ですか？

**森田選手** 13歳の秋からコーチをしてもらっていてもう8年ぐらいになります。丸山コーチがいなければ今の自分はいないと思います。13歳の時から試合も殆ど来てもらっていて、最初はパーム・インターナショナル・スポーツ・クラブ)で見てもらっていたのですが、早い段階からプライベートコーチをお願いするようになりました。まだジュニアの早い段階でどうなるかなんて分からない時から、自分のためにかけてくれて、一緒にやってきてくれて、本当に感謝しています。どんな時でも支えてくれて、私のことも信頼してくれて、丸山コーチの為に頑張りたいと思っています。

**吉田** ツアーのコーチにはどのようなことが求められると思いますか？

**森田選手** ツアーのコーチには、短い期間だけのコーチと、1年間プライベートコーチとしてのコーチがあります。1年プライベートコーチでツアーを選手と回るとするのは、ツアーは良い時ばかりではないので、逆に大変なことの方が多く、優勝できる選手でなければ常に毎週毎週

負けるわけで、場所も毎週移動しないといけないことを考えると、本当に大変です。根気が必要だと思います。

**吉田** いつも調子が良い時ばかりではないので…。厳しいこともコーチは言ってくると思います。選手は分かっているけど素直になれないこともあり、葛藤がありますね。

**森田選手** 丸山コーチは、本当に根気があると思います。

**吉田** 次にジュニアの頃のお話を少し聞かせて下さい。私も今ジュニアの育成に携っていますが、それにしても森田選手のジュニアの頃の戦績は素晴らしいですね!! 中学1年生で群馬県選手権優勝、その年に全日本選手権の予選に出場しているのですね? 凄いですね。その後15歳でプロに転向。どのようなジュニア時代を過ごしていたのですか?

**森田選手** 小学校3、4年からパーム・インターナショナル・スポーツ・クラブに行くまで練習は週に6日やっていたのですが、大人の人にヒッティングを1対1で1時間やってもらって、そのあとにジュニアと一緒に練習をしていました。練習時間は長くて2時間半から3時間ぐらいでした。

**吉田** 試合は好きでしたか?

**森田選手** はい。自分で決めるといよりは、母が試合を調べて沢山試合に出場していました。

**吉田** ご両親はテニスをされますか?

**森田選手** 遊びですがしていました。

**吉田** プロになりたいと思ったころはいつごろですか?

**森田選手** プロになりたいと思ったのは、11歳の時に12歳以下の全日本ジュニアで優勝できて、そのとき初めてプロになりたいなと思いました。それまではまったく思っていませんでした。

**吉田** ジュニアのころ他にやっていたことはありますか?

**森田選手** テニスを始めるまでは水泳をやっていました。外で遊ぶことも好きでした。そして6年生ぐらいのころから東京に週に1~2回来てトレーニングを受けに通っていました。

**吉田** 子供のころから、森田選手は短距離も長距離もとても速かったと聞いたことがあるのですが…

**森田選手** 遅くはなかったですが、ものすごく速かったわけでもありません。でも、パーム・インターナショナル・スポーツ・クラブにいたころに、週に1回10キロ丸山コーチと走っていました。遠征に行くようになってからも、試合の後でも前でも丸山コーチが走るのが好きだったので、一緒に最低でも30分長い時には1時間走っていました。

**吉田** パーム・インターナショナル・スポーツ・クラブに行ったきっかけはどういったきっかけだったのですか?

**森田選手** 母が雑誌の記事で丸山コーチの記事をみつけて、丸山コーチの考え方に賛同して、母が最初話を聞きに行ったのがきっかけです。一度丸山コーチのレッスンを受けてみて、すぐに決めました。

**吉田** テニスをしていく中で最初の大きな決断ですね。

**森田選手** その時は、自分の意思というよりは、母が探してくれて決めてくれて、それが自分に合っていたと思います。

**吉田** ジュニアからプロになっていく過程で、選手にはどのようなことが求められると思いますか? 森田選手の様が良い判断をするということも必要になってくると思いますか?

**森田選手** それ(良い判断)はとても必要だと思います。自分の場合は運が良かったと思います。良いコーチに巡り合えたのも良かったです。

**吉田** そう思えることは、とても幸せなことですね。

**吉田** さて、現在のプロのツアー生活では、どのような一日を過ごしていますか?

**森田選手** 試合に行っているときは、練習は基本的には2時間から2時間半です。

試合の2日、3日前までは、ジムでトレーニングもします。オフの日には買い物やゴルフに行きます。DVDを観るのも好きです。

**吉田** 練習では森田選手がウォズニアッキ選手と練習しているのを見かけます。

**森田選手** ウォズニアッキ選手とは、試合でも対戦していますし、練習も沢山してもらっています。

とても勉強になります。NO1になっても変わらないです。一番勉強になったのは、練習試合でも負けたくないものですが、ウォズニアッキ選手は、勝ち負けではなくて、試合のための練習試合をしています。練習の姿勢も勉強になります。少々変なところに行ってしまったボールでも気にせず繋げてくれます。誰と練習をしてもそのような姿勢でいられる選手になりたいとウォズニアッキ選手を見ていて思いました。

**吉田** 今はまっているものはありますか?

**森田選手** 今は、ゴルフと料理にはまっています。料理を作るのが好きです。得意料理はパンを作ります。リラックスになっています。

**吉田** ゴルフが上手と聞いていますか?

**森田選手** 普通です。女性にしてはボールがよく飛ぶほうだと思います。

**吉田** 今後挑戦したいことはありますか?

**森田選手** スキーです。テニス選手なのでなかなか出来ませんが、テニスを始める前までは毎年家族で行っていました。

**吉田** それでは2012年の抱負を聞かせてください。

**森田選手** ランキングでは30位を目標にしています。今までやってきた通りに、フィジカルも技術もメンタルも全ての面で2011年を上まわれるように一試合一試合ベストを尽くして、その結果最後についてくれればいいと思っています。また元気に一年回って、充実したシーズンを送りたいと思います。

**吉田** 最後に世界へ挑戦したいと思っているジュニアに一言お願いします。

**森田選手** まずは、テニスを楽しんでいることがとても大切です。好きじゃないと頑張れないと思うので、好きな気持ちを忘れずに、毎日毎日目標に向かって努力していれば、必ず目標や夢に近づけると思うので、頑張ってもらいたいと思います。

**吉田** ありがとうございます。

**森田選手** ありがとうございます。

インタビューを終えて…

充実したテニス生活の中には大変なこともあるかと思います。森田選手は、そんなツアー生活を常に丸山コーチと頑張ってきているのだと思います。印象に残っているのは、丸山コーチへの感謝の気持ちと、コーチのためにも頑張りたいと思える気持ち。そして、インタビューの時に感じましたが、しっかり冷静に物事を判断して考えられる力!これが森田選手の強さにも繋がっているように思いました。2012年の森田選手の活躍に益々期待が膨らみました。最後に、忘れてはいけないのは、ツアーコーチは根気!!が必要です。ありがとうございます。

**森田あゆみプロフィール** / 1990年3月11日生まれ  
群馬県太田市出身  
県立湘南高校卒業  
所属：キヤノン

- 7歳よりテニスを始め、15歳1ヶ月でプロ転向。
- 15歳8ヶ月で全日本テニス選手権シングルス優勝。
- 2003年9月より丸山淳一コーチに師事。
- 2007年よりフェドカップ国別対抗戦日本代表。
- 2011年主な戦績：
  - WTA世界ランキング自己最高位の40位を記録。
  - 全豪オープンではシングルス3回戦進出。
  - WTAプレミア大会の2大会(ブリュッセルオープンとバンクオブウエスト・クラシック)でシングルスベスト8進出。

## JPTAの明日をイメージさせる 華やかで楽しい新役員就任パーティー

去る平成23年10月24日、400名近いお客様をお迎えし、当協会の新役員就任パーティーが「ホテルラフォーレ東京」で開催されました。当協会の新理事長佐藤直子の挨拶に続き、新会長である森トラスト株式会社の森章社長、ならびに新副会長のカルチャ・コンビニエンスクラブ株式会社の増田宗昭社長の挨拶、そして日本テニス協会の畔柳会長による乾杯の音頭で、パーティーがスタートしました。会場には、往年の名テニスプレーヤーはもとより、テニス関係者も大勢お祝いに駆けつけてくださいました。当協会が5年間にわたって主催する能登国際女子オープンテニスでの人気イベント「やってみんかいね」が登場、駆けつけた松岡修造さんが能登町の持木町長より、ラケットとボールを受取



り挑戦しましたが、見事全部外れるというハプニングで、パーティーは後半へと移りました。

その後、抽選会を機に、会場内はかなりの盛り上がりとなり、来場者の皆様は旧交を温め合ったり、新たな出会いを楽しまれたりと、大変に賑やかな様子を呈しておりました。会場には、佐藤理事長の交友の広さを象徴するように、各界の著名な方々も来場されており、パーティーの最後には、池田理代子さん(漫画家)、伊藤和枝さん(女優)、宇津木妙子さん(女子ソフトボール元日本代表監督)、川合俊一さん(元プロビーチバレー選手)、谷川真理さん(マラソン選手)、春野寿美礼さん(元宝塚歌劇団女優)、南野陽子さん(女優)、村田孝高さん(オペラ歌手)、モト冬樹さん(タレント)、山崎浩子さん(元新体操選手・タレント)という豪華メンバーがステージに上がられ「それが大事」の大合唱でパーティーは無事終了しました。

## JPTA能登国際女子オープンテニス2011開催報告

実行委員長  
佐藤直子

記念すべき第5回大会となったJPTA能登国際女子オープンテニス2011は、日本の選手は勿論、世界各国から集まった選手達を、アットホームな雰囲気の中で包み込みました。能登町の方々の温かい受け入れ態勢が、このトーナメントの一番の魅力です。能登町の方々とアイデアを出し合いながら、毎年少しずつ良い大会に成長し、歴史を積み上げて行っているこの大会です。優勝したベルギーのタマリ・ヘンドラー選手と、準優勝の江口実沙選手との決勝は、迫力あるパワーテニスのぶつかり合いで、素晴らしいものでした。今後の彼女たちの活躍に期待したいものです。テニスという国際性豊かなスポーツを通して、能登町の名が世界のテニス選手から「Noto International Open Tennis」として認知されるようになってきました。ここが正念場です。今年も、さらに良い大会を目指して、JPTAの力を結集する決意です。



## 第一回 準会員募集「ワークショップ」開催報告

ワークショップ委員会  
副委員長 余語敏彦

第一回準会員募集「ワークショップ」が10月10日(月・祝)に邦和スポーツランド(名古屋市)に於きまして開催されました。準備期間が短く、また第一回ということで手探りで開催となりました。参加者は6名でしたが、東京都、大阪府、岐阜県、愛知県(岡崎市)等、各方面から参加となりました。最初にJPTAの歴史やJPTA組織と活動についての説明を行い、次にスクールに於ける安全対策と応急処置の講義を行いました。そして、オンコートでは基本の5動作の段階的指導法と送球方法を

講習しました。参加者からは、ジュニア指導に対する悩みや、初心者等の指導に対する疑問が投げかけられました。今後、このワークショップは各地区会を中心に、各地区会員主導の開催にしていきたいと思っております。会員の皆様には、是非、ワークショップへの参加者をご紹介しますよう、お願い申し上げます。

# 新設『ブラッシュアップ勉強会』の報告書

資質向上資委員会副委員長

八島正幸

## 開催のいきさつ

- 講習会(UP講習会も含めて)やプロテストで見られる、勉強不足・技術テクニックの低下
  - レッスンの中に見られる教え方の素晴らしさ・ユニークさが無いことを数年各テスターから言われている
  - プロテスト合格以降、プロコーチとして自己研鑽へ行く場がない
- 以上の点が問題として浮上しており、解決方法を模索していた。

〔開催日〕平成23年10月23日(日)～24日(月)

〔場 所〕神戸市北区 みのたにグリーンスポーツホテル

〔参加者〕26名 〔講 師〕会員4名 外部1名

## 目的

## keyword

- 会員の指導技術レベル向上 (『ア!!魔法みたいに治った』)
- 会員ご自身の技術力UP (『うまい!!格好いいフォーム』)
- テニスマン・指導者としての人間力UPを目指す (『さすががテニスのコーチ』)
- 会員同士の横のつながりを密にする (『仲間作り・情報交換の場』)

## 内 容

10/23	タイトル	内容
12:00	ジュニアの指導法 『モデル生徒のレベルアップクリニック』	●ミニラリーの重要性 (考え方と実例集)白戸・八島
14:20	④12歳以下 — 男女 ⑤14～16歳 — 男女	●サーブの矯正 白戸(個人を指導して説明) 八島(グループを指導して説明)
16:15		●戦術の重要性 どこに打ったらどこに返ってくるか? (スライスの効果を分かる為スライスのみのポイント)
16:30	中田研先生 『体のケアの重要性』	●その他
18:10		●コーチの質を上げる話 医学だけでなく人間教育も含めて 情報過多な昨今、その中から正しいもの を選別できる能力『知識』、それを判断・ 行動に活かす『知恵』が重要である 13歳以下前後の一番身長が伸びる時期 はケガが多いので注意する事 「考え方」・「実例」等の講義
18:15	チェックイン 風呂,食事	
20:00	座談会 ●自己紹介と参加の 目的	中田先生を中心に白戸・八島 とてもリラックスしてつっこんだ話が出来た
23:00	●質疑応答	22:00の予定が23:00までかかり盛り 上がった



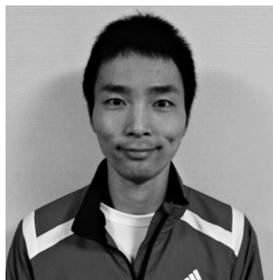
※教育や文化等の教養を身に付ける為に自己投資をする心を持つ事が経営哲学を生み、生徒さんの気持ちを理解できるようになる事を改めて感じる場にする。

10/24	タイトル	内容
9:30	●一般エンジョイクラスの指導法	八島デモ&村上氏解説
11:20	●レディースプレイヤーズの指導法	竹内氏デモ (ウォームアップ・ポイントプレー) 矯正(コンチネンタルでラリー) トップスピンの打ち方
13:00	●白戸プロによる チャンスボールの決め方・打ち方	八島:グループレッスンの実例 『戦術と矯正法のやり方』 白戸:高い打点の打ち方
14:00	●竹内氏による技術指導	●参加者全員による厳しいドリルを体験(ストローク・ラリー・サーブ)
17:30	●受講生への直接指導	●合気道から参考にできる体の使い方
	●まとめ	●八島による参加者のラリー矯正法の紹介(見るポイント:これでダメなら次々と矯正法を変える)
		●林研一元講習会講師によるラリーの矯正法の紹介

## 〔所見〕

- ・準備と打ち合わせの時間が不十分であったが、各講師の力量で良い勉強会となった。次回は準備の時間について要検討。
- ・『もっと聞きたかった』『掘り下げたかった』との声を頂いた。また、皆さん夜遅くまで盛りあがったようです。
- ・モデル生徒は少なくして、もっと多くのポイントを紹介できるように工夫したい。
- ・今後は各方面で活躍されているプロテニス協会の先輩プロから、多くの事を学べる場にしたい。

## ブラッシュアップ勉強会を受講して



徳島テニスアリーナガーデン  
チーフコーチ 眞鍋雄吉

研修に参加させて頂き、有難うございました。

一番印象に残ったことは、講師の白戸プロの指導方法は軸がはっきりしていることです。確率重視です。この確立を高めるためのアドバイス、技術、レッスンとなっています。私も色々なプロコーチのコーチングを勉強していますが、各コーチの育った時代、経験により生まれた考え方の重要としている部分により、結果、その技術指導の仕方が変わっています。ですので、どれが正解ということはないようで、あるのでしょうか、トップのコーチになればないでしょう。

私の考えの軸は、身体が楽でパワーが出るテニス(仮)ですので、アドバイスに迷ったら、そこに戻りたいと思います。また、中田先生の講義も興味深く、腕を鍛えるとスイングの加速度が落ちるといふこと、筋肉の遠心性収縮のことが勉強になりました。身体についての正しい理解も重要と感じました。

(眞鍋雄吉会員)

テニスクラシック「部活やサークルに最適!ショットもダブルスもみるみる上達ドリル」を好評連載中。

## 資質向上セミナー メガロス柏会場開催報告

資質向上委員会

委員長 白戸 仁

12月9日(金)、千葉県のメガロス柏会場で13時から17時まで資質向上セミナーを行いました。今回の参加者は16名でした。

講師は私自身が務め、内容は如何にテニスをシンプルにそして物理的に考えていこうという内容です。今までは「常識」と思われていることでも実は「もっと簡単かつ有意義なこと」があるということを多く皆様に解説してきました。

参加者には事前に、改善したい悩み、課題などをお伺いしていることから、まずは実際に悩んでいるフォアハンドを例にとり、どうして失敗しているのかを説明をし、その後それをどのように矯正していくか、他の課題も含めいくつかの方法を伝えてきました。

- ボレーの考え方とその矯正方法(グリップの考え方とスムーズに薄いグリップで打てる方法)
- サーブの考え方とそこからスマッシュへの移行方法(トスの位置の勘違い、身長、力の強さによる違いなど)

4時間のセミナーは、大半が見て聞いてもらう形式となりましたが、参加者の皆さんからの様々な質問に対してもお答えできたかと思います。

プロコーチは、レベル、性別、年齢とそれぞれに合った指導方法の引き出しを沢山持って、個々に夢と希望を与えるレッスンをを行うことが求められます。その為にはプロコーチ自身の資質向上と最新の情報入手が必要となるでしょう。そのためにも、もっともっと勉強して質を高めましょう!!!

そんなセミナーをこれからも、多く開催していくつもりです。会員の皆さんもどんどん参加されることをお奨めします。



## 平成23年度 第一回 地区長会議開催報告

日時：平成23年10月25日(火)9:00～12:00

会場：JPTA事務局 会議室

進行：委員長 富岡信也 副委員長 古川彰治

【出席】藤原弘明(北海道:幹事代理出席)、大貫弘二(神奈川)、  
富塚拓彦(千葉)、菅原大輔(埼玉)柴田優子(東海)、林浩司(関西)、  
梶下欣昭(中国)、井澤義治(四国)、石津吏(九州)  
佐藤理事長、太田常務理事、白戸理事、金丸理事  
<事務局>中田事務局長、西山

【欠席】門脇章(東北)、安間保行(北信越)



新役員就任パーティー開催の翌日、JPTA事務局会議室に於いて、平成23年度地区長会議が開催されました。

当日は佐藤理事長をはじめ、太田常務理事、白戸理事、金丸理事が参加され、地区長と直接要望や意見を交換し合い、大変有意義な会議となりました。

4月から公益法人となった協会には地区会の活性化が必須となり、富岡委員長からは、各地区会そして地区長の協力なくしては協会の発展と事業の成功が望めないことをあげられ、更に尽力いただくよう要請がなされました。

3時間という短い間でしたが、終始和やかな雰囲気で行進し、無事終了致しました。



【選手紹介リレー】

ProPlayer Interview  
プロプレイヤー  
インタビュー



PHOTO BY AKIRA ANDO

JPTA会員の皆様、こんにちは。  
日本プロテニス協会様には、大会運営、イベントなどで大変お世話になっております。今後も会員の皆様や協会の皆様と協力し合い、テニス界の発展に貢献していきたいと思っております。  
最近では、若手選手の活躍が頼もしくなってきました。ベテラン選手と呼ばれるようになった僕には、良い刺激です。2012年も覚悟を持って挑みたいと思っておりますので、どうぞ応援、よろしくお願ひします。  
松井俊英

プロフィール

松井 俊英(まついとしひで)  
■1978年 4月19日 生 32歳  
■千葉県柏市 出身  
■身長：180cm / 体重：77kg  
■最終学歴：Brigham Young University-Hawaii(ブリガム大学 ハワイ校)卒  
■専攻：心理学  
■プロ転向：2000年

ジュニア時代は全くの無名選手。16歳の時、海外での英語教育とテニスに興味を持ち、単身でカナダのトロントに留学。18歳の時、ブリガム大学ハワイ校でテニスの奨学金を得ながら文武両道の道を選ぶ。卒業後にプロテニスプレーヤーとして活動をスタート。積極的に国内外を遠征し、試合以外にも、ジュニアや一般愛好家を対象としたイベント、クリニックに参加。自身のホームページで、日頃の選手活動を紹介(ブログ)。

<主な戦績>

- デビスカップ日本代表 2006、2010
- アジア大会 日本代表 2006(銀メダル)、2010(銅メダル)
- 全日本選手権 単 準優勝 2006
- 全日本選手権 複 優勝 2005、2007、2008、2009
- 日本リーグ 優勝 4回 MVP 2回
- ウインブルドン予選準決勝

<メディア>

- 三共栄養ドリンク リゲイン テレビCM
- スポーツオーソリティ テレビCM
- NHK 全日本選手権決勝戦 テレビ放映
- テレビ東京  
イザワクリスマスオープン決勝戦 テレビ放映
- GAORA、J-SPORTS、WOWOW  
試合放映(デビスカップなど)
- ローカルテレビ局(特集、試合放映など)
- テニス関連雑誌、テニス関連以外の雑誌、新聞、インターネット

<契約先>

- 所属：ライフ・エヌ・ピー
- 用具：ヨネックス
- パッチ(ワッペン)：Dole

<松井俊英選手ホームページ>  
www.toshimatsui.com



PHOTO BY AKIRA ANDO

「選手紹介」のコーナーでは、往年の選手から若手選手まで出来るだけ多くの選手の皆さんにインタビューさせて頂き、プロとしての志や垣間見える素顔の部分をご紹介していきたいと思っております。第3回目のページを飾るのは「松井俊英プロ」です。強靱な体から繰り出す強烈なサーブと、世界に通用する精神力を武器に主に海外のビッグトーナメントを中心に転戦中です。着実に実績を積み上げ、デビスカップ代表にも選出されるなど、誰もが認める国内トッププレイヤーです。

松井 プロにうかがいました

- Q01 今一番、練習で気をつけていることやテーマは何ですか?  
「短期集中」「量より質」です。
- Q02 プロプレイヤーとして活躍するには「強い精神力」が必要ですね。どうやってメンタルトレーニングをしていますか?  
「オンとオフの切り替え」「高いイメージを持つ」ことです。
- Q03 今までテニスを通して得たことは何ですか?また、それがテニス以外の場で生きていけると感じられるのはどんな時でしょうか?  
テニスをきっかけに留学、海外遠征が出来たのは、プロ活動を自分でマネジメントをしていく事や海外での色々な人との出会いやコミュニケーションに役立っています。
- Q04 憧れていた選手、目標にしている(もしくはしていた)選手がいれば教えてください。  
海外の選手では、ボリス・ベッカー選手が好きでした。日本の選手では松岡修造選手です。
- Q05 松井プロにとって「コーチ」とはどんな存在ですか?それはジュニア時代と現在とは違っていますか?  
ジュニア時代の時も今もコーチは必要な存在です。本当に必要と感じたのは、25歳頃からでした。
- Q06 好きな食べ物は?  
肉系です。
- Q07 この世で苦手なものはありますか?  
「高い所と狭い所」です。
- Q08 座右の銘、または好きな言葉を教えてください。  
Enjoy life!
- Q09 最後に、プロを目指すジュニア達にアドバイスと、JPTA会員にメッセージをお願いします。  
僕のジュニア時代もそうでしたが、今のジュニア達も優勝者以外はみんな「負け組」そして、トップジュニアのみがプロになれるという概念が邪魔をしているのではないのでしょうか? 僕自身は無名ジュニアで、今のプロ選手の中では、変わった経歴を持っています。僕のように千葉県ジュニア大会で優勝できなくても、プロテニスプレーヤーとして活躍する事によって(まだまだ足りないですが)、頑張っているたくさんのジュニア達の夢や目標達成の手助けとなれば幸いです。がんばれ日本のジュニア! そして、そんな勝手な使命感を感じている僕をこれからも応援、よろしくお願ひします。

# JPTA会員人物紹介



## 鈴木 寛典会員

はじめに、JPTAの役員の皆様、会員の皆様、そして協力して頂いています関係者の皆様、いつも私たちの活動を支えていただき、ありがとうございます。この紙面をお借りしましてお礼ならびに感謝を申し上げます。

私がJPTAに入会してから、20年近くが経ちました。テニスを通じて多くの経験をさせていただき、数多くの方々にお世話になりました。そして現在は、家業の福祉事業である保育園で子どもたちにテニスを教えています。当園では健全な体と心をつくる目的で、体育テニス指導やサッカー教室、野球体験教室などを行っています。北海道の保育園のカリキュラムの中にテニス教室を導入しているところは、当園が初めてということもあり、様々な工夫をしながら行っています。子供たちの楽しんでいる笑顔と懸命に練習している姿は、教わることが沢山あり、感動の毎日です。

保育園の卒園児から選手が出てくれたらと思いつつながら頑張って指導にあたっております。



保育園体育テニス教室



保育園屋上コートにて

北海道テニス協会・札幌テニス協会では、ジュニア委員と普及指導委員長をさせていただいております。先日、畠山成牙君がU14で全国優勝しました！「よし俺も！」「私も！」と思う選手が北海道には沢山いて、元気に練習しています。私は底辺の拡大とレベルの底上げを考えていて、彼のような選手が沢山出るように、試行錯誤しております。

この度、理事になられた辻野プロには、ジュニアの普及・強化でご縁があり、刺激を受けた選手たちは充実した練習を行っています。

私はこれからの活動として、JPTAの会員としてテニスの普及活動はもちろん指導者、テニス教師としての人格を勉強し、テニスを通じてスポーツの素晴らしさ、人生の素晴らしさを伝えていけたらと思

会員人物紹介では理事、地区長、幹事の皆様からの情報を基に、各地区で活躍している会員をピックアップし紹介します。

鈴木会員との出会いは私の現役の頃から。

当時、鈴木会員はプロコーチとしてバリバリ活躍をされていました。特にジュニア指導の部分でご一緒させて頂いたのですが、何をおこなうにしてもとにかく「一生懸命・全力投球」という表現がピッタリの印象でした。

その後、間もなく家業の保育園を手伝うという事で、プロコーチ業一本という事ではなくなったそうですが、園舎の屋上にテニスコートを作り、教育の一貫として園児達にテニスを教えています。

理事 辻野隆三

### <プロフィール>

- 氏名：鈴木 寛典
- 年齢：44歳
- 血液型：A
- テニス歴：27年
- コーチ歴：25年
- ライセンス：日本プロテニス協会認定P2  
米国プロテニス協会認定P2  
日本体育協会公認テニス教師
- 趣味：音楽鑑賞
- レッスンのモットー：一人ひとりの気持ちを受け止め、一歩を踏み出せる指導を心掛けています。
- 好きな言葉：今を大切に

ています。

私自身、「保育者として、テニスコーチとして」まだまだ未熟な人間で不安なことは沢山ありますが、多くの人達に支えられて今日に至ります。今後もお互いに助け合い、テニスを通して社会貢献をしたいと思っています。



札幌テニス協会 ジュニア強化

追記…東日本震災について、

先だって、保育園の団体で、東北震災支援活動の一環として岩手県の山田町へ伺い、炊き出しと、被災した保育園との交流会をしました。活動は2日間でしたが、現地の方と一緒にこの半年の苦労を泣きながらお聞きしました。子供たちにも会い、手品などを披露して帰ってきましたが、次回はテニスレッスンなどをして、東北の子供たちに元気を出してもらいたいと考えています。



東北支援、移動中の車から撮影



# 地区便り [ 四国地区 ]



温暖な気候と海に囲まれた癒しの国「四国」。重要文化財「松山城」、小説ぼっちゃんの「道後温泉」、金刀比羅宮、坂本龍馬像の「桂浜」、祖谷のかずら橋…観光名所も数え切れないほどあり、また知名度抜群です。四国地区の会員は少数ではありますが、井澤地区長を中心に、毎年NGT地区大会やプロテスト・講習会、テニスの日のイベントなどを開催し、積極的に活動されています。



四国地区  
地区長 井澤 義治

皆さん、こんにちは。四国地区の地区長を担当させて戴いています井澤義治です。

四国地区は愛媛・香川・高知・徳島の4県。JPTAメンバーは、現在14名。少人数ながら、お会いできていないメンバーもいて、寂しさを紛らしながら、自称、孤軍奮闘(笑)している地区です。

他の地域と比較すると、距離的なアクセスは恵まれている様に思いますが、まだ、プロテニス協会の強みが浸透していないのは、当方の広報不足である様に感じています。(反省)

昨年春、NHK朝の連続ドラマ「ウエルかめ」放映終了直後、石黒前副会長・渡邊前理事長・石黒賢氏にお越し戴き、公営施設のオープニングセレモニーとして開催した「ウエルかめテニス」は記憶に新しい処です。

現在は、年数回の幹事会を開催し、意思疎通を図って、地方の我々でも、プロとしてできる事から実行しようとしています。2011年は、テニスの日の普及とJPTA周知目的の為、公営コートを賃借し、レッスンを行いました。このイベントは毎年恒例として、継続していく予定です。

ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバンは、色々な方からご支援賜り、第1回から積極的に開催させて戴いています。13年を振り返れば、名実共に四国から輩出されるジュニア選手の登竜門になっており、感慨深いものがあります。

今後は、地元のテニス協会とも密着しつつ、テニスを愛する仲間の皆さんの色々なご指導を戴きながら、地方テニスの普及と強化という命題に取り組んでいきたいと念じています。

ありがとうございます。

## プロテスト委員会 プロテスト(UPテスト)資格昇級者

日 時	会場	受験者数(新規含む)	会員番号	氏 名	資格	勤 務 先
7月7日(木)、8日(金)	メガロス千種(愛知)	5名	3451	塚本 達也	P2	テニスラウンジ金山
			3584	笠井 一希	P3	守山グリーンテニスクラブ
7月21日(木)、22日(金)	メガロス横濱(神奈川)	13名	2796	木村 聡	P2	TOPインドアステージ津田沼
			3513	山根 将樹	P3	神奈中テニススクール伊勢原
			3528	広瀬 重和	P3	System G Tennis
			3643	山本 規史	P2	テニスクラブ大井ファミリー
11月22日(火)、23日(水・祝)	TOPインドアステージ氷川台(東京)	14名	2444	吉田 真幸	P2	西鎌倉エバーグリーンテニススクール
			2800	渋谷 一義	P1	TOPインドアステージ亀戸
12月4日(日)、5日(月)	テニスアリーナガーデン(徳島)	7名	3214	眞鍋 雄吉	P2	テニスアリーナガーデン

**新入会会員挨拶**

※ 入会手續完了の新規会員様

氏名	資格	勤務先
島 文雄	プロフェッショナル3	武蔵野市テニス連盟
テニスはいつ始めても一生続けられるスポーツだと思います。また、テニスをする事で得られる喜びや感動も少なくありません。私は少しでも多くの方に、テニスを楽しんで頂けるお手伝いをしていきたいと思っています。		
照井 直樹	プロフェッショナル3	フリー
新入会の照井直樹です。今後は更に質の高い指導が出来る様に頑張ります。皆様宜しくお願い致します。		
成田 大地	プロフェッショナル3	高島平インドアテニススクール/(株)レック興発
テニスが初めての方にも、テニス本来の楽しさが伝わること、そして運動感、戦略性のあるレッスンを心がけています。		
堀川 奈美	プロフェッショナル3	タムラクエイト株式会社/Ken'sインドアテニススクール成田
多くの方が、テニスを通して「幸せ」や「笑顔」になれるよう、一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。		
安部 裕樹	プロフェッショナル3	タムラクエイト株式会社テニス事業部/Ken'sテニスクラブらぼーと
小学1年生から年配の方まで、幅広くテニスの楽しさを伝えています。「テニスをして良かった!」とレッスンに来てくださった全員に言うてもらえるようにしていきたいと思っています。		
山川 嘉昭	プロフェッショナル3	Ken'sインドアテニススクール千葉
こんにちはこの度、会員となりました山川嘉昭です。お客様のニーズは千差万別、しかしどれをとっても「テニスが好き!!」という共通の想いがある以上、どんなかたちであれ、手助けしていけるよう日々励んでいます。皆様よろしくお願致します。		
市野瀬 泰之	プロフェッショナル3	モリタスポーツ・サービス(株)
多くの方々にテニスの楽しさを知ってもらい、夢を与え、心身の健康づくりに寄与したいです。		
中村 隆裕	プロフェッショナル3	(有)インターナショナルスポーツプランニング/C's RACQUET CLUB
この旅、日本プロテニス協会に入会しました、C's RACQUET CLUBの中村隆裕です。入会後はイベントやセミナーに参加し、レッスンスキルを上げていきたいと思っています。いつも元気!!誰よりも熱心に指導!!をモットーに、レッスンさせて頂いています。よろしくお願致します。		
稲富 雄史	インストラクター	C's RACQUET CLUB
多くの人に、テニスの素晴らしい楽しさを伝え、よりたくさんの方にテニスを普及させたいと思っています。インストラクターではありませんが、今後ともよろしくお願致します。		
山田 智史	インストラクター	みや路
子供からお年寄りまで幅広い年齢の方々に、テニスの面白味をわかって頂ける様に頑張っていきたいと思っています。		
野島 直幸	インストラクター	丹波インドアテニスカレッジ
今回のプロテストで、日本プロテニス協会の一員になることが出来て良かったです。僕はまだコーチ歴が1年と少なく、まだまだわからないことがたくさんありますが、これを機会にいろいろなことを経験して、コーチとしてのスキルを上げていき、お客様からも喜ばれるコーチになりたいです。いずれはプロフェッショナル1まで取れるように、これからもがんばっていきます。		
山本 涼太	プロフェッショナル3	テニスラウンジ明和
この度、JPTAに入会させて頂きます、山本涼太と申します。コーチ歴5年目でまだまだ未熟者ですが、常にお客様のご要望に応えられるようなレッスンを目指して、日々努力していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。		
高橋 一輝	プロフェッショナル3	株式会社A-I-S/ten tennis school
もっと良いレッスンができるように、テニスの勉強をしてお客さんに満足してもらえるレッスンをできるように頑張ります。そして、P1がとれるようにテニスの練習も頑張ります。		
村中 孝彰	プロフェッショナル3	ロングウッドスポーツ株式会社
これからたくさんの方の事を勉強して、いろいろなことを経験して、自分のものにできるものは吸収していけるように頑張っていきたいと思っています。私は地道にコツコツと常に前に進む努力だけは忘れないようにして、自分が思ったことに対して真っすぐに進んでいきます。		

氏名	資格	勤務先
佐々木 隆志	プロフェッショナル3	(株)ニッケインドアテニス/ニッケテニスドーム日進
今回、テストで指摘して頂いた部分に気を付けながら、お客様にテニスのすばらしさを伝えていきたいと思っています。私は、テニスのおかげで今、とても楽しい人生を送ることができています。一人でも多くの人へ、テニスを伝えて人生を良い方向へ、そして楽しささせることが夢です!		
河村 優太	プロフェッショナル3	名古屋菱重興産株式会社/守山グリーンテニスクラブ
今回のプロフェッショナル3合格は、大変嬉しく思っております。ありがとうございます。抱負として、各ショット専門のクラスやエクササイズ要素を取り入れたクラスなど、幅の広いレッスンが出来るようになりたいと考えています。またレッスンだけでなく経営やイベントなどの仕事にも力を入れていき、将来的には自分のテニスクラブを持ちたいと考えています。これからもこの結果に驕ることなくP2・P1が取れるようがんばっていきます。		
黒田 義英	プロフェッショナル3	若鳩インドアテニスクラブ・黒田企画
皆様はじめまして、黒田です。今回JPTA認定プロフェッショナル3の資格を頂きました。これは、周りの方々のサポートがあったからこそだと思います。この先いろいろあると思いますが、感謝の気持ちを忘れず何事も楽しみながら成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。		
玉木 圭司	プロフェッショナル3	インドアテニススクール ロングウッド多治見
私は、テニスは長く続けられるスポーツであり、上達もしやすいスポーツだと思います。私自身も10年近くテニスをやってきて、毎回楽しく上達してきました。これからは、テニスのコーチとしてその上達のお手伝いができるよう頑張っていきたいです。		
林 宏彰	プロフェッショナル3	ロングウッドスポーツ(株)
資格を生かし、自分の将来につなげていきたいです。オリジナリティあるテニスコーチを目指したいです。		
太田 雅人	プロフェッショナル3	テニスラウンジ港校
現在インドアスクールでインストラクターをやっております。テニスは老若男女楽しめる素晴らしいスポーツだと思っています。今後は、この素晴らしいスポーツをさらに広げ、多くの人にテニスの楽しさを味わっていただけるように頑張っていきたいです。		
北嶋 雄一	インストラクター	ライジングテニスクラブ
これからたくさんテニスの勉強をして、成長できるように努力していきたいと思っています。まだまだ未熟で至らないところもありますが、日々練習していきたいです。よろしくお願致します。		
塚本 輝	プロフェッショナル3	ライジングテニスクラブ
より沢山のの人に技術を伝え、テニスの楽しさとゲームでポイントを取る事の喜びを持っていただけるようにレッスンをしていきたいと思っています。		
稲上 航	プロフェッショナル3	古河あかやまテニスクラブ
テニスは小さいお子様からご年配の方まで幅広い層に楽しめるスポーツだと思っております。プロコーチとして恥ずかしくない態度で、慢心することなく常に向上心を持って取り組んでいきたいと思っています。		
八田 一彦	プロフェッショナル3	フィットネスクラブフォーラス/テニスネットワークマネジメント
昭和の森フィットネスクラブ フォーラスにてテニスコーチをしています。日本のテニスが今まで以上に盛り上がるため、微力ながら尽くしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。		
森田 裕和	インストラクター	石神井ローンテニススクール
石神井ローンテニススクールでコーチをしている森田裕和と申します。プロテストでの指導法や強制法を自分のレッスンに取り入れていけたらと思います。また、アップテストにもどんどんチャレンジしていこうと思います。		
垣内 崇寛	プロフェッショナル3	アクトスポーツクラブ
ジュニア発掘・育成のお手伝いを積極的にしていきたいです。また、プロフェッショナル1をすぐに取ります。テニスの技術はもちろん、若さと明るさを武器に頑張ります。		
小淵 智史	プロフェッショナル3	メガロス網島インドアテニススクール
この度、JPTA会員となりました小淵智史と申します。これからより多くの人にテニスの楽しさ、魅力をお伝えし、楽しく健康的なテニスライフが送れるようお手伝いしていきます。また、自らもプロコーチとプレーヤーとして日々勉強・練習を重ね、成長していきたいと思っています。積極的に研修会や試合へ参加していきたいと思っていますので、皆様よろしくお願いたします。		
三森 康史	プロフェッショナル3	つくし野テニスカレッジ
さまざまなプロコーチと知り合い、輪を広げ、明るいテニス会発展のためにがんばって行きたいと思っています。皆さん、どうぞよろしくお願致します。		

# News 平成23年度 JPTAコンベンション開催のお知らせ

JPTAのコンベンションは4年ぶりに関西で開催いたします。今回のコンベンションは社団法人日本テニス事業協会と同じ会場を利用することとなり、夜の記念パーティーは両団体が合同で開催することになりました。

- 開催日：平成24年2月7日(火)～8日(水)：2日間
- 会場：2月7日 生田神社会館 3階 基調講演&分科会  
// 4階 合同記念パーティー
- 2月8日 ブルボンビーンズドーム  
デ杯練習見学ツアー  
元トッププレーヤーによるワンポイントレッスン  
JPTA 交流戦
- ポイント付与：1日6ポイント、2日12ポイント





## 平成24年度 2月～3月行事予定



### 2月

- **コンベンション委員会** .....  
【平成23年度JPTAコンベンション】  
2 / 7(火)、8(水) 13:00～(受付は12:00～)  
会場：生田神社会館(兵庫県神戸市) /  
ビーンズドーム(兵庫県三木市)  
★7日(火)のパーティーは社団法人日本テニス事業協会と合同開催です。

- **ジュニア育成委員会** .....  
【エリア別育成強化】  
2 / 4(土)、5(日) 東海地区  
会場：ピスタヴェルデ春日井

- 【全国大会】  
(NGT)  
2 / 18(土)、19(日) 北九州  
(JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U-13)  
2 / 17(金)、18(土) 北九州  
(JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U-15)  
2 / 17(金)、18(土) 北九州

### 3月

- **プロテスト委員会** .....  
【プロテスト】  
3 / 14(水)、15(木) ビーンズドーム(兵庫県)

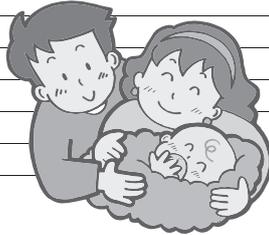
- **事務所移転** .....  
引越日：3月10日(土)  
事務局業務開始日：3月12日(月)  
【新住所】  
東京都品川区北品川4-7-35  
御殿山トラストタワー 1F  
【電話 / FAX 番号】  
変更なし



# 事務局 だより

## おめでた

★ご結婚	平成23年 1月 15日	饗庭 大輝 会員と 澤 麻衣 さん	★ご出産	平成23年 2月 28日	西村 愛理 会員
	平成23年 4月 15日	塚本 達也 会員と 大西 由利子 さん			世理(せり)ちゃん
	平成23年 6月 28日	安岡 恵一 会員と 杉原 佐知子 さん		平成23年 7月 5日	片野 裕子 会員
	平成23年 8月 1日	大脇 佑介 会員と 荒谷 奈津子 さん			陽満里(ひまり)ちゃん
	平成23年 11月 23日	吉田 友佳 会員と 金子 和宏 さん		平成23年 7月 25日	村上 暢寛 会員
	平成23年 11月 25日	濱口 太一 会員と 神本 奈緒 さん			未空(みそら)ちゃん
				平成23年 9月 5日	田中 教夫 会員
					ぞら ちゃん
				平成23年 10月 15日	饗庭 大輝 会員
					来空(らいあ)ちゃん
				平成23年 10月 21日	古谷 繁之 会員
					颯人(はやと)ちゃん



## おくやみ

平成23年5月28日	井手 健之 会員	義母 井上 準子 さま
平成23年12月22日	馬場 功次 会員	義父 布田 義一 さま

## ホームページ 会員専用ページ内 MIXI(ミクシィ) JPTA会員専用 コミュニティサイト 登録・申請について

MIXIは身近な友達は勿論、普段は会えない友達や知り合いともコミュニケーションをとることができます。日記を書いたり、共通の趣味や好きな話題のコミュニティに参加して仲間を増やす事も、意見交換もすることが出来ます。

(今回設けましたJPTA会員専用コミュニティは、JPTA会員同士のコミュニケーションツールとなりますのでJPTA会員のみ参加となります)

会員専用サイト JPTA Members Onlyより入り、  
登録作業をしてください。(図参照)

### MIXIに既に会員登録している方

- ① そのまま「入り口」から入る
- ② ログイン
- ③ 検索からJPTA と入力して検索
- ④ JPTA会員専用コミュニティ(会社・団体)が検索結果として表示
- ⑤ 「このコミュニティに参加」ボタンを押す
- ⑥ コメント欄に会員番号と氏名、コミュニティに参加希望と明記し、参加申請を送信
- ⑦ 協会事務局よりコミュニティの参加承認が返送

### MIXIに会員登録をされていない方

- ① 協会事務局代表メールに(kyokai@jpta.or.jp)へMIXIのコミュニティ参加希望と会員番号と氏名を明記の上、送信。
- ② 協会より、MIXI会員登録の招待状が届く・・・その後はMIXI画面の説明に従い、登録をしてください。
- ③ 登録後は、左記「MIXIに既に会員登録している方」の①～同じ工程にてお進み下さい。

リニューアルしたホームページ内に設けました、MIXIにご登録をご希望の方は、下記の手順にてご申請下さい。(こちらの登録、活用は任意です)



すでにmixiの会員の方はそのままお入りください。  
まだ会員でない方はこちらまでご連絡ください。  
[kyokai@jpta.or.jp](mailto:kyokai@jpta.or.jp)



入り口

## 平成24年度年会費請求書送付について

平成24年度年会費お支払いに伴い、年会費振替のご案内・請求書のご案内をさせていただきます。

各支払い方法によって振替のご案内・請求書のご郵送時期が違いますので、ご確認をお願いいたします。

- ①『三菱 UFJ ニコス集金代行、振込のご対応の会員様』  
3月末頃を目途に JPTA 事務局より請求書をご郵送。
- ②『キャピタルシステムサービス (CSS) 集金代行のご対応の会員様』  
4月上旬頃に集金代行業者 (CSS) より振替案内 (はがき) を直接ご郵送。

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

## 平成24年度JPTA退会・USPTA退会の手続きについて

退会・USPTAの退会のお手続きにつきましては、JPTAホームページの会員専用サイトにログイン後、各届け出用紙のダウンロードをおこなってください。

用紙にご記入、ご捺印、必要添付資料 (認定証と会員カード) を揃えていただきまして下記期日までにご郵送をお願いいたします。

【提出期日】平成24年3月30日 (金) 必着  
(お早目の提出も受付いたします)

【会員専用サイトログインPW】 jpta1972A1

注) Aは半角です

※メール、FAXでの受付はできません、原本のご郵送のみの受付となります。

## JPTA HOT NEWS 協会情報メール 配信サービス登録受付中

出来るだけリアルタイムな情報を会員の皆様へお届けする、メール配信サービス (JPTA HOT NEWS) をご希望の方は JPTA のホームページの会員専用サイトより入り、メール配信サービス登録フォームからメールアドレスをご登録ください。メール配信の利用料は無料ですが、インターネットの利用に伴う通信料は自己負担となりますので、ご了承ください。(配信は不定期となります)

### 【送信者】:

パソコンの場合 [公益社団法人日本プロテニス協会]

携帯の場合 [jpta-haishin@jpta.or.jp]

※携帯に jpta-haishin@jpta.or.jp を公益社団法人日本プロテニス協会という名前で登録して頂ければ、今後、送信者欄に [公益社団法人日本プロテニス協会] と表示されます。

【件名】: [JPTA HOT NEWS] と表示されます。

ご利用上の注意点につきましては、JPTA ホームページの会員専用サイトにてご確認ください。

### 【問い合わせ】

広報委員会 事務局担当まで

TEL: 03-5791-1965 FAX: 03-5791-1966

E-mail: jpta-haishin@jpta.or.jp

## JPTAホームページ 会員専用サイト ..... 求人広告掲載受付中! .....

ホームページの会員専用サイトに求人広告を掲載することができます。ご希望の方は下記項目をメールにてお送りください。JPTANEWS の人材募集コーナー (有料) も併せてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、JPTA 事務局までご連絡ください。

### 求人広告掲載内容詳細

#### 【求人広告掲載事項】

会員専用サイトに掲載される項目です。

- ・会社名 (クラブ名)
- ・勤務地
- ・職種
- ・応募資格
- ・待遇
- ・問合せ先  
(担当者名含む)

#### 【掲載期間】 1か月

掲載の延期または期間内の掲載取り下げの際はお申し出ください。掲載はご申請頂いた日から作業の都合上、3日~5日のお時間を要する場合がありますのでご了承ください。

#### 【掲載料】 無料

(当社は無料で掲載となります)

### ◀ 原稿送信・問合せ先 ▶

広報委員会 事務局担当まで

e-mail : nakajyo@jpta.or.jp

メールの件名に「会員専用サイト求人掲載」とご入力ください。尚、原稿はお送り頂く前に、ご一報を頂けると幸いです。宜しくお願いいたします。

## JPTA 公認企業・公認商品

会員は大いに利用し、生徒さん等関係者に薦めてください。

ラケット	.....	プリンスラケット	.....	グローブライド(株)
シューズ	.....	プリンスシューズ	.....	グローブライド(株)
ドリンク	.....	ポカリスエット	.....	大塚製薬(株)
ウェア	.....	YONEX	.....	ヨネックス(株)
ボール	.....	JPTAオフィシャルテニスボール	.....	ブリヂストンスポーツ(株)
ストリングス	.....		.....	(株)ゴーセン

## JPTA 推薦企業

スポーツサーフェス(株)      大塚ターフテック(株)      タムラクリエイト(株)

## JPTA 賛助企業

JPTAは下記の企業の賛助を受けています。

あいおいニッセイ同和損害保険(株)	東京ウエルネス(株)	(有)リックスコミュニケーションズ
(株)ゴールドウイン	(株)ナイキジャパン	日本プロテニスエンタープライズ(株)
(株)ダンロップスポーツ	(株)ヤマハリゾートつま恋	ミラクル(株)

## 編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。  
 今号も興味深い内容を満載してお届けできましたことを、とても嬉しく思います。  
 またご多忙にもかかわらず、本誌の作成に快くご協力下さった皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました!  
 熱くチャレンジを続けるJPTAらしい、熱意あるプロの姿勢や生きた言葉をお伝えできる会報誌づくりをめざして、今年も編集部一同がんばりますので、ぜひ皆様のご意見ご感想をお寄せ下さいね!

金丸 由紀

今回初めて編集に関わらせて頂きました。  
 改めて文章で伝える事の重要さ、難しさを認識させられました。が、今後も皆様のご協力のもと良い誌面を作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

辻野隆三

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。今後も会員の皆様のお役にたてるような誌面作りをしていきたいと思っております。

事務局N